



飯山の生徒は、真面目によく課題に取り組む……がしかし、自分の考えを表現するのは苦手?



「飯山の生徒は、真面目によく課題に取り組む。しかし、自分の考えを表現するのが苦手な傾向にあるように思います」という感想を、二中の生徒を指導している中で篠原先生は持ったようです。この傾向は、飯山北の生徒にも当てはまるのではないかと思います。同様の感想を、平塚先生も持ったようです。

指摘された点は、この地域の生徒たちの長所であり、しかし短所でもあります。自分の意見をはっきり言わないことは、話し合いや、意見をたたかわせながら学習を深めていくような方法が苦手であることにつながります。飯山の生徒たちには、あえて弁証法的な学習方法を意図的に仕掛けていく必要があるのかもしれない。

篠原 T の感想から

- ・中学の学習（例えば 3 年「因数分解」）が高校でどのような学習につながるかなど、高校での授業を通して中高を貫く数学の分野の系統性が具体的に見えてきている。
- ・授業の中で、中学生のつまずきやすいところと、高校生をつまずきやすいところには類似性がある。
- ・授業の指導形態や教材、情報機器など中学でも参考になるものがある。PC ソフトは実際に使うようになった。
- ・授業後の感想や次回の課題等を話し合う中で、飯山地区の学力向上を図る手がかりや具体策を模索している。

平塚 T の感想から

- ・高校生が基本的な部分でつまずいている箇所は、中学の段階で類似した箇所でつまずいていることが実際の経験でわかった。
- ・高校現場では、時間を生み出すためについ授業のスピードをあげがちであるが、基礎力充実を目標とした講座では、中学の指導法を見習う点があると感じた。
- ・飯山に赴任して、この地域の中学及び高校の家庭学習の指導の徹底ぶりに改めて敬服した。小学校を含め、家庭学習の指導に学力向上の鍵があることを感じた。
- ・中学との交流を通じて、教具や PC ソフトなど互いに取り入れるものがあり、良い刺激があった。

生徒の感想から

中学生〈二中〉

- ・数学の「式の展開」の学習で高校生がやる問題も解くことができうれしかった。
- ・カッコの書き方を注意しなければならないことがわかった。

高校生〈飯山北高〉

- ・先生が 2 人いると、すぐに質問ができていいと思う。
- ・常に回ってくれる先生がいるので、質問しやすい。
- ・先生が 1 人だと分からないところをなかなか聞けなかったりするのですが、2 人いるのですぐに聞けてすぐに理解できていいです。
- ・これからも複数でお願いします。

〈平塚 T の授業日誌から〉

- ・授業のはじめに、ジャマイカで計算トレーニング。生徒の集中力が高まるのが良い。今回は $11 = 3, 3, 2, 1, 1$ という比較的やさしい問題となった。(3, 3, 2, 1, 1 の 5 個の数の四則演算で 11 をつくる) 生徒の反応もすばやい。篠原 T の乗せ方もうまい!
- ・ \div 分数 \Rightarrow \times 逆数 の確認。指名された生徒から、きちんと「逆数」という用語が出てきたことに、少しびっくり。高校生でもなかなか「逆数」という用語は出てこない。
- ・今日は、宿題プリントの答えあわせを、違う人が採点する方式をとった。高校生だとなかなかできない方法だが、中学生は別に不思議がらずに他の人の答案を採点し、間違いを訂正していた。そういえば、間違えることに対し、あまり抵抗感がないのが良いと思う。間違いをからかう生徒もいない。間違えることで、理解が深まるということをもみんながわかっている雰囲気がある。篠原 T 曰く、「クラス単位の授業では、なかなか難しいが、少人数の講座制だからうまくいくのではないか」ということだ。

